

バイオナックと次亜による SUS (ステンレス) 腐食耐久試験

1) 評価方法

- ・試験部材：SUS304 (30×40×0.5mm)、試験繰り返し各水準2回
- ・試験洗浄剤：バイオナック及び6%NaClO (各 50 倍、5 倍希釈液)
- ・試験方法：55°C試験液中 14 日間浸漬 (3 日間毎に新液交換)

2) 評価結果：図 4、5 に示した。

次亜塩素、バイオナック 50 倍 希釈液に 14 日間浸漬		
-	次亜塩素 6%	バイオナック
外観	 50 倍 14 日で腐食浸食発生	 50 倍 14 日で腐食浸食、無し
腐食度 (gmh)	0.0311	0.0002
侵食度(mm/y)	0.0344	0.0002

図 4 SUS304 劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果

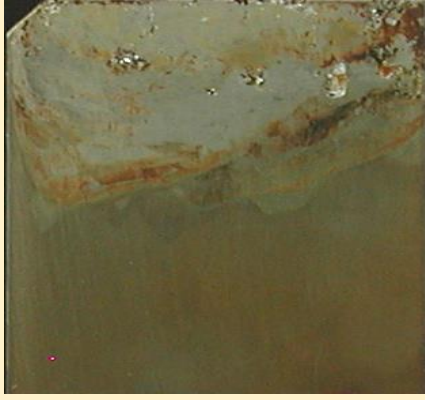
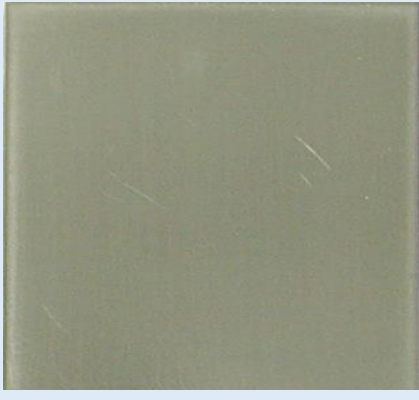
次亜塩素、バイオナック 5 倍 希釈液に 14 日間浸漬		
-	次亜塩素 6%	バイオナック
外観	 5 倍 14 日で腐食浸食発生	 5 倍 14 日で腐食浸食、無し
腐食度 (gmh)	0.1324	0.0003
侵食度(mm/y)	0.1450	0.0003

図 5 SUS304 劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果

3) **結果の要点**：バイオナックの SUS304 に対する腐食は、次亜よりも大幅小さく、孔食の発生も認められなかった。